

# とまこちゃん通信 VOL.23

2018年3月



☆ホームページみてね! ☆ : [tomato-dc.com](http://tomato-dc.com)

とまと歯科クリニック

(又は「とまと歯科 託児」で検索)



☆今回のテーマ☆ 「熊野町のむしば」



2/27 (火) に行われた熊野町子ども・子育て会議に歯科医師会代表として出席しました。これは、熊野町の民生課 子育て・健康推進課が町内の幼稚園、保育園の園長、中学校の校長、PTA 会長さんたち、医師、歯科医師、安田女子短大の保育科の教授などを委員として選定して召集し、熊野町の子ども・子育て支援事業計画について報告し、待機児童の現状についてなどを話し合う会議です。

その議題の中で、今回一番の問題点として話し合われたのが、**熊野町の子どものムシバの状況について**でした。報告によると、

<う歯（ムシバ）の保有率>

	平成28年度	平成29年度
1歳6か月児	2.25%	4.08%
3歳児	21.0%	23.5%

**前年よりも増えている!!これはどういうことだ!!??**

町の事業として行われているのは、1歳半と3歳児の健診の際の歯科検診と保健指導、及び2歳児のフッ素塗布クーポンの配布だということです。しかし数字からみると効果が少ないと言えます。また歯医者として責任重大だと感じました。

当院に来られる子どもさんの保護者は健康意識が高い方々が多いと感じています。でもまだまだ、「ムシバは削って詰めたら治る」とか「フッ素を塗ったからもうムシバにならない」とか、の誤った考えをお持ちの方はいらっしゃると思います。

歯は直接命にかかわることは多くありません。しかし健康でいきいきした人生をすごすには大切な器官だと思います。

**生涯なんでも噛める歯は子どものときから育てることがなにより重要**です。

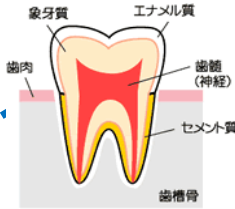
地域の子どもたちのお口の健康を守っていく私たちの使命を果たすためには、正しい知識をもっともっとお伝えし広めていただくことが必要だと考えています。

院長 廣瀬 佐都子



とまと歯科クリニックの理念： 地域の皆様のお口の健康を守り育てることに全力をつくし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。

## ★おしえて!とまごちゃん★



質問:歯は何でできていますか?

答え:歯の表層のエナメル質は、ほとんどがリン酸カルシウムで、ハイドロキシアパタイトと呼ばれる無機質からできています。体の中で一番硬くて丈夫にできています。

内面の象牙質は、約 70%がハイドロキシアパタイトで、その他線維性タンパクの胶原蛋白からなり、エナメル質と象牙質は硬く石灰化した組織です。その中に歯に栄養を送る神経、血管が集まっている歯髄があります。だから歯は歯髄から栄養をもらって生きているのです。

むし歯になって冷たい水がしみたり、痛くなるのは命がある証拠。大事にしたいですね。



質問:歯は何で白いのですか?



答え:歯の表面のエナメル質は無色で半透明です。その中の象牙質の色は黄色で、エナメル質の光の屈折性により、歯の全体の色調が変わります。

エナメル質が薄いと光を通過させやすいので、象牙質の黄色が反映します。逆に、エナメル質が厚いと光の通過が悪くなり、白く見えるようになります。また、歯の表層のエナメル質にカルシウムとリン酸の結晶が沈着して石灰化することにより、歯が白く見えるようになります。

とくに、乳歯のほうが永久歯よりも白く見えます。



惇也くん(2歳6か月)



今月の ぷちとまと



お内裏様とお雛様の服に色を塗って  
2人で楽しんでいます!!!



葉奈ちゃん(2歳7か月)

